

わたしのみつけた 用の美

記入例

わたしたちは、美しい景色や素晴らしい美術作品だけに美しさを感じるわけではありません。普段の生活で何気なく使っている日用品の中にも、“愛着をもって使い続けることで実感できる美しさ”が存在します。“道具は使われてこそ美しい”という考え方を「用の美（ようのび）」といいます。あなたが使っていて「用の美」を感じるものを生活の中からみつけ出し、そのよさや美しさを“あなたの見方や感じ方で”味わってみましょう。

わたしが選んだものは、

オリーブの木のカッティングボード

写真またはスケッチ（写真の場合は紙に貼ってください。）



- ①どんなよさや美しさを感じたのか。
 - ②どこからそう感じたのか（色や形の特徴を含めて）を具体的に書きましょう。
- そのものにまつわるエピソードなどを書き加えてもよいですね。読み手に伝わる表現を心がけよう！

わたしが感じた「用の美」

このカッティングボードには、オリーブの木が使われていて、木目のマーブル模様がとてもきれいです。パンやピザなどを切るときに使っているの、その油が染み込んで、深い色合いになっているのも、とても美しいと感じました。もう5、6年使っているの、傷だらけですが、その使い込んだ感じも含めて味わいがあります。大きいサイズで使いやすく、形は少しゆがんでいますが、その分、このまま食卓に出しても雰囲気が出るので、家では重宝しています。

◇家

（みよう）

（母）が選んだものは、

ステンレス製の水差し

写真またはスケッチ



そのもののよさが伝わるように、撮る（描く）角度や構図を工夫してみましょう。注目させたいところをアップにしてもよいですね。

（母）の感じた「用の美」

横から見た時のすっきりとした美しい形とステンレスの質感が気に入って、購入したそうです。シンプルなデザインで、ステンレスが周りの景色を反射して溶け込むので、室内に置いてもインテリアを邪魔しません。また、先端が細く長いので、葉の隙間から少しずつ水をやるのにちょうど良いそうです。持った時に、持ち手のステンレスが指に当たって痛くなるのが難点だそうですが、見た目のデザインが気に入っているの、この先も大切に使い続けたいそうです。